



# 別寒辺牛

2014年3月発行  
NO.29

## 弁天神社に参るオオワシ夫婦！

最初に確認したのは、もう7年ほど前になる2006年12月の年末のこと。漁協の前から見えるので、既にご存じの方もいるはず。

毎冬、厚岸湖にオオハクチョウやオオワシ・オジロワシが本格的に渡って来始めると同時に、御供山に1週間から10日間隔で登り、頂上の展望台から厚岸湖にいる野鳥を調査しています。

いつものように野鳥の群れの位置を確認し、オオハクチョウやワシたちをカウント。同時に氷の状態や湖の全景を写真に撮っています。

そして持ち帰ったデジカメのデータを整理していたときに、はじめて気づきました！

弁天神社の鳥居の上にいるオオワシの夫婦(つがい)を！

それ以降、毎年同じ時期に弁天神社を休憩場所にし、おおよそ2月いっぱいまで姿を消します。

これは、彼らオオワシたちの繁殖地であるサハリン、マガダン、カムチャツカに戻るためです。

そして平成26年1月、今年も弁天神社にオオワシが来ましたが...

今年はずがいではありません。1羽だけです。

御供山から撮影



オス、メスのどちらがいなくなったのかはわかりませんが、寿命、あるいは不慮の事故で死亡したと考えられます。

オオワシ・オジロワシ、タンチョウやオオハクチョウなどの大型鳥類は、無事に大人になることが出来れば、20年から30年ほどの寿命と考えられており、基本的に一夫一婦制です。

おおよそ4、5歳から繁殖出来るようになりますが、つがいのオス、メスの年齢はバラバラで、一生のうち何度か、伴侶との別れがあるものも出てきます。

幸い、片方がいなくなった後、新たにつがいになるのにはさほどの日数はかかりません。

1月には1羽だったこのオオワシも、2月8日には新しい相方を見つけた感じなのですが、お相手との相性はどうなのか、まだハッキリしません。

また来季以降、夫婦(つがい)でやってきてくれますように。

1月は1羽のみ



水鳥観察館野外観察カメラから厚岸湖を撮影

## 平成25年度やちっこクラブ活動報告

平成21年度から、町内の子供たちを対象とした会員制の自然体験クラブとしてスタートした「やちっこクラブ」。今年度は22人のキッズレンジャーが、保護者17人、サポーター8人、協力員5人の協力の元に、月に1回のペースで、厚岸の自然について楽しみながら学習してきました。今年度も、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション厚岸臨海実験所の協力を得て、厚岸の環境とは切っても切れない「海」の体験学習プログラムも盛り込み、より充実した活動になりました。今年度の活動内容は以下の通りです。

- 5月 ● やちっこクラブ開会式
- 6月 ● ESD※のためのKODOMOラムサール〈雨竜〉に参加  
田植えなどを体験し、雨竜沼湿原と田んぼの関係を学習
- 7月 ● 別寒辺牛川のカヌー下り
- 9月 ● 厚岸臨海実験所の実習船「うみあいさ」に乗船し、アイニンカップにある世界最大のオオアマモ場の生物を採集、観察
- 11月 ● 別寒辺牛川のカヌー下り
- 12月 ● 渡り真っ最中のオオハクチョウ観察&厚岸のキノコを使った料理会
- 1月 ● 厚岸湖の水鳥調査
- 2月 ● 全道一斉海ワシ類調査

平成26年度も、子供たちが楽しめるようなプログラムを企画中です。募集要項は別途案内しますので、ご興味のある方は水鳥観察館までお問い合わせ下さい。

(※ ESDとは、持続可能な開発のための教育 (Education for Sustainable Development) の頭文字を取ったもの)



仲岡所長によるオオアマモの解説



雨竜町で田植え体験

ラムサール条約登録湿地 厚岸湖・別寒辺牛湿原 厚岸水鳥観察館だより

あっけし みずどり かんさつ かん

# 厚岸水鳥観察館

☎088-1140

北海道厚岸郡厚岸町サンヌシ6番地

TEL&FAX (0153) 52-5988

E-mail: [bekan@tiara.ocn.ne.jp](mailto:bekan@tiara.ocn.ne.jp)

URL: <http://www.akkeshi-bekanbeushi.com/>